

令和5年度（令和6年度入試）

練馬区立石神井中学校

進路ガイド

第2集

3年 _____ 組 氏名 _____

目 次

1	校長挨拶	2
2	都立高校の入学者選抜について	3
3	私立高校の入試について	1 1
4	通信制高校・サポート校について	1 4
5	都立産業技術高等専門学校の入学者選抜について	1 4
6	専修学校の入学について	1 5
7	受験に必要な書類について	1 6
8	合格発表・入学手続きについて	1 7
9	受験（受検）に向けて心がけるべきこと	1 8
1 0	今後の予定について	1 9
1 1	就職について	2 0
1 2	保護者の皆様へ	2 1

1 校長挨拶

自己実現に向けて

校長 櫻井 弘

中学校卒業後の進路を選ぶということは、皆さんにとって大きな判断だと思います。真剣に自分と向き合い、よく考えて目標を決め、着実な努力の積み重ねにより、進路を力強く掴み取ってください。不安なこともあると思いますが、皆さんの先輩たちも、皆この時期を乗り越え、石神井中学校から大きくはばたいていきました。皆さんにも、中学校生活で学んできたこと、努力してきたことを信じて、一日一日の学校生活を仲間とともに大切に過ごし、自己実現に結び付けていってほしいと思います。

自分の進路を決めていくためには、まず情報を集めましょう。都内だけでも高等学校は数百校あります。その中から候補の学校を絞っていきます。最終的には、1番行きたい学校1校、その次に行きたい学校数校に絞ります。その際大事にするのは、「どこに行くか」ではなく「そこで何をやるか」です。やりたい勉強でもいいですし、部活動でもいいと思います。また、通学時間、行事、力を入れている学習、取得することのできる資格、卒業生の進路実績などの要素も検討し、より自分に合った納得のいく選択をしていきましょう。目標が決定できたら、後はその実現のためにやるだけです。

皆さんが活躍するこれからの社会では、価値観もより多様になっていくと思います。そこで大切になるのは「自分」をもっていることです。石神井中学校では「主体的」ということを大切に生活し、たくさんのことを学んできました。受験勉強は進路を切り拓くための勉強ですが、皆さんが今後もより良く生きていくためには、継続して勉強していくことが大切です。「勉強」という言葉に抵抗のある人は「体験」と置き換えてはどうでしょうか。楽しい体験を積み重ねていくことができるように、やるときは精一杯やりましょう。将来への展望と目的意識をしっかりともち、自分の夢を実現させましょう。石中生には「こういう経験をしてきたから、今の自分がある。」と、これまで自分が学んだこと、体験したこと、悩んできたことなどすべてを肯定できるように、人生を歩んでほしいと思います。

2 都立高校の入学者選抜について

東京都教育委員会 HP URL: https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/high_school/



A 推薦に基づく選抜

(1) 日程

出願	[入力期間] 令和5年12月20日(水)から令和6年1月18日(木)午後5時まで ※受検者の情報の入力後、中学校が書類準備・確認・送付等の事務を行うため令和6年1月11日(木)までにオンラインでの出願手続きを完了し、中学校に担任から添削を受けた自己PRカードなどの必要書類を提出してください。
検査	令和6年1月26日(金)・27日(土)
合格者の発表	令和6年2月 2日(金) 午前8時30分(合否照会サイトで発表) 午前9時30分(校内掲示)
合格者の入学手続	令和6年2月 2日(金) 午前9時30分～午後3時30分 2月 3日(土) 午前9時～正午

(2) 応募資格

① 志願する都立高校を第1希望とする者。

※国公立を含めた中での第1志望が応募資格であるため、出願後受検しないことや、合格の辞退はもちろん、他校への推薦出願することはできません。合格したら、必ず入学することになります。

② 令和6年3月に都内の中学校を卒業見込みの者。

③ 都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

④ 在学している中学校長の推薦を受けた者。

※「石神井中の推薦基準」を満たし、校長から推薦を受ける必要があります。

<練馬区立石神井中学校長が定める推薦に値する生徒の条件>

以下①～⑤の条件をすべて満たす生徒

① 欠席・遅刻・早退が多くない生徒であること。(正当な理由があり、認められる場合を除く)

② 学校や社会のきまりを守り、学校内外での生活態度が落ち着いている生徒であること。

③ 各教科を通じて授業態度が良く、意欲的に学習に取り組んでいる生徒であること。

④ 委員会・係活動、その他学級の当番活動などを誠実に実行することができる生徒であること。

⑤ 進路決定後及び卒業後も、推薦されたということ、自覚をもって行動できる生徒であること。

※部活動・外部活動などの推薦においては、上記①～⑤を満たし、さらにその活動でめざましい活躍をした生徒であること。

(3) 推薦の種類と選抜方法

推薦の種類	選抜の目的	主な検査内容
① 一般推薦	基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接 ・調査書 ・集団討論 ※必要と判断した学校のみ ・小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査から一つ以上の検査を実施
② 文化・スポーツ等特別推薦	各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接又は集団面接 ・実技検査 ・その他学校が設定する検査
③ 特別推薦（理数）	科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接 ・小論文 ・科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問

※集団討論については、必要と判断した都立高校において実施することになります。

実施校：日比谷、竹早、深沢、鷲宮、西、篠崎、調布南、東大和南、永山、足立工科、町田工科の11校

※自己PRカードは、点数化しません。面接資料として活用します。

※特別推薦（理数）については、立川高校に加え、科学技術高校でも実施されます。

(4) 募集定員

普通科で募集定員の20%（コース制30%）まで、専門学科・総合学科などでは30%（工業科は40%）までとなっています。**令和6年度選抜より男女合同選抜となっています。**

文化・スポーツ等特別推薦では、実施する高校が種目等ごとに1～10名程度の募集定員を定めています。一部の種目等においては男女別に募集定員を定めています。

特別推薦（理数）では、2校とも募集定員は8名となっています。

詳しくは、東京都教育委員会HPや各都立高校HPをご覧ください。

(5) 出願方法

① 出願できる推薦の種類

一般推薦	1校1コース又は1科（1分野）に限り出願できます。志願変更はできません。同一の学科内に2科（2分野）以上ある場合は、第2志望を指定することができます。
文化・スポーツ等特別推薦	1種目を指定し、1校1コースまたは1科に限り出願できます。志願変更はできません。当該都立高校の一般推薦にも出願できます。
特別推薦（理数）	1校1科に限り出願できます。志願変更はできません。他の推薦に基づく選抜に出願することはできません。

②推薦の出願に要する書類

学校が用意するもの	各家庭で用意するもの
<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査書 ・ 推薦書 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願願書(インターネット出願) ・ 入学考査料 (2,200円) ・ 自己PRカード ・ 科学分野等の研究に関するレポート (特別推薦(理数)のみ)

※文化・スポーツ等特別推薦では、志願者の活動の実績等を証明する書類は提出しません。

③推薦のオンライン出願の流れ

1	インターネット出願サイトにアクセス	各都立高校HPに、インターネット出願サイトのバナー等が準備されます。志願者は、志願先の都立高校のHPからアクセスします。
2	ID (メールアドレス) 登録	メールアドレスとIDを登録します。すぐに確認できるメールアドレスを登録してください。
3	ログイン・マイページ	登録したメールアドレスを使ってログインします。ログインするとマイページが表示されます。初めに顔写真の登録を行います。
4	出願情報入力	出願情報を入力し、出願する試験を選択し、一時保存します。
5	出願情報の承認 (中学校)	中学校が情報を確認した後、承認を行います。
6	入学考査料の支払い・出願確認	入学考査料の支払いは、クレジットカードによる支払いと、納付書による支払いのどちらかを選択します。
7	各出願書類の提出	自己PRカード等の各種出願書類を中学校に提出します。 その後、中学校から志望先の都立高校に書類提出期間内に郵送しますので、期日には余裕をもって提出してください。
8	受検票出力	受検票の出力期間内になると出願サイトのマイページから受検票の出力が可能になります。各自で印刷して、検査日当日に持参します。

※オンラインでの手続きが困難な場合は紙面での手続きも可能ですので事前に担任にご相談ください。

※自己PRカード等の各種出願資料に関しては、早めに担任に提出し、事前にしっかりとチェックを受けてください。

(6) 自己PRカード

自己PRカードは、「志望理由について」、「中学校生活の中で得たことについて」、「高等学校卒業後の進路について」の3項目について記入します。「志望理由について」は、志望校として選択した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入します。「中学校生活の中で得たことについて」は、中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入します。「高等学校卒業後の進路について」は、将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入します。

推薦に基づく選考では、出願時に自己PRカードを提出する必要があります。点数化はされず、面接資料として活用されます。志望校の「本校の期待する生徒の姿」を参考にして、作成しましょう。

(7) 本校の期待する生徒の姿

各都立高校の「本校の期待する生徒の姿」が各都立高校HPや東京都教育委員会HPに掲載されています。必ずその内容を確認した上で、自己PRカードの作成や面接に臨んでください。



井草高校の「本校の期待する生徒の姿」

グローバルに活躍する人材を育てる進学校として、次のような生徒の入学を期待します。

- 1 学習意欲に富み、自らの目標に向けて学業に励むとともに、高い教養を身に付けようとする生徒
- 2 学校行事や部活動等の特別活動に積極的に参加し、自主・自律の精神を磨こうとする生徒
- 3 志を高くもち、失敗にくじけず、物事に前向きに取り組む意欲をもつ生徒
- 4 異文化に興味と関心をもち、国際理解教育に積極的に取り組む意欲をもつ生徒

B 学力検査に基づく選抜（第一次募集・分割前期募集）

(1) 日程

出願	〔入力期間〕 令和5年12月20日（水）から令和6年2月6日（火）午後5時まで ※受検者の情報の入力を確認後、中学校が書類準備・確認・送付等の事務を行うため 令和6年2月2日（金）までにオンラインでの出願手続きを完了し、入学考査料の振り込みを完了してください。都立高校の推薦出願者は、合格発表日当日の手続きとなり、時間が無く大変恐縮ではありますが、余裕をもって手続きを進めていくためにご協力、お願い申し上げます。	
志願変更	取り下げ	令和6年2月13日（火） 午前9時～午後3時
	再提出	令和6年2月14日（水） 午前9時～正午
学力検査	令和6年2月21日（水） 集合 午前8時30分	
面接及び実技検査等	令和6年2月21日（水）以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表	令和6年3月 1日（金） （全日制） 午前8時30分（合否照会サイト上で発表） 午前9時30分（校内掲示） （定時制） 午前8時30分（合否照会サイト上で発表） 午後4時（校内掲示）	
合格者の入学手続	令和6年3月 1日（金） （全日制） 午前9時30分～午後3時30分 （定時制） 午後4時～午後8時 3月 4日（月） （全日制） 午前9時～正午 （定時制） 午後4時～午後8時	

(2) 応募資格

- ① 令和6年3月に中学校を卒業する見込みの者、もしくは中学校を卒業した者
- ② 入学後都内から通学することが確実な者。
- ③ 定時制は、入学後、都内に住所または勤務先を有すること。

※都立高校の第一次募集に出願後、第1志望の私立高校に合格した場合は、都立高校の受検を辞退していただくようお願いしております。一人でも多くの生徒が、第1志望の都立高校へ進学できるよう、ご理解、ご協力いただくと幸いです。

(3) 選抜方法

① 学力検査

学力検査について、全日制は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の5教科となります。ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学及び外国語（英語）の3教科となります。一部の都立高校では、特定の教科の配点に比重をかけています。（傾斜配点）

定時制は、国語、数学、外国語（英語）、社会及び理科の5教科のうち、3教科を下らない範囲で各都立高校が定めます。また、面接も実施します。

※学力検査のない学校（エンカレッジスクール、チャレンジスクール）や面接試験を実施する学校もあります。

※以下の10校は、自校で作成した学力検査問題3教科（国語、数学、英語）及び都立高校共通問題2教科（理科・社会）で学力検査を行います。

3教科：日比谷・西・国立・八王子東・戸山・青山・立川・新宿・墨田川・国分寺の10校

英語のみ：国際

全日制及び定時制 令和6年2月21日（水） 集合：午前8時30分

	開始時刻 ～ 終了時刻	時間	検査教科
集合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分 ～ 午前 9時50分	50分	国語
第2時限	午前10時10分 ～ 午前11時00分	50分	数学
第3時限	午前11時20分 ～ 午後 0時10分	50分	英語
第4時限	午後 1時10分 ～ 午後 2時00分	50分	社会
第5時限	午後 2時20分 ～ 午後 3時10分	50分	理科

※令和6年度選抜より検査間の休憩時間が30分から20分に短縮されています。

② 調査書

学力検査を実施する教科を1倍、学力検査を実施しない教科を2倍にして、合計点を算出します。その上で、300点満点（学力検査と調査書点の比率が6：4の高校なら400点満点）に換算します。換算する際の小数点以下は切り捨てになります。

- 調査書点は、次の表のとおり、学力検査を実施する教科の評定を1倍、学力検査を実施しない教科の評定を2倍して、算出します。

学力検査の教科	1倍する教科	2倍する教科	評定の満点
5教科（国・数・英・社・理）の場合	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科（国・数・英）の場合	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75点

（注）「評定の満点」は、各教科の評定が全て「5」である場合

③ スピーキングテスト

令和5年11月26日（日）（予備日 令和5年12月17日（日））に実施されます。スピーキングテストの結果について、Aは20点、Bは16点、Cは12点、Dは8点、Eは4点、Fは0点となります。



(4) 募集定員

募集定員に関しましては、東京都教育委員会HPや各都立高校HPをご覧ください。**令和6年度選抜より男女合同選抜となっています。**

1校1コース又は1科(1分野)に限り出願できます。また、同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合は、他の全ての科(分野)に志望の順位を付けて出願できます。同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできません。

募集定員に満たなかった学校は第2次募集をおこなう場合があります。

(5) 出願方法

①第一次募集・分割前期募集の出願に要する書類

学校が用意するもの	各家庭で用意するもの
・調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書(インターネット出願) ・入学考査料(全日制2,200円 定時制950円) ・スピーキングテストスコアレポート ・自己PRカード(面接実施校の志願者のみ)

②第一次募集・分割前期募集のオンライン出願の流れ

1	インターネット出願サイトにアクセス	各都立高校HPに、インターネット出願サイトのバナー等が準備されます。志願者は、志願先の都立高校のHPからアクセスします。
2	ID(メールアドレス)登録	メールアドレスとIDを登録します。すぐに確認できるメールアドレスを登録してください。
3	ログイン・マイページ	登録したメールアドレスを使ってログインします。ログインするとマイページが表示されます。初めに顔写真の登録を行います。
4	出願情報入力	出願情報を入力し、出願する試験を選択し、一時保存します。
5	出願情報の承認(中学校)	中学校が情報を確認した後、承認を行います。
6	入学考査料の支払い・出願確認	入学考査料の支払いは、クレジットカードによる支払いと、納付書による支払いのどちらかを選択します。
7	各出願書類の提出	自己PRカード等の各種出願書類を中学校に提出します。 その後、中学校から志望先の都立高校に書類提出期間内に郵送しますので、期日には余裕をもって提出してください。
8	受検票出力	受検票の出力期間内になると出願サイトのマイページから受検票の出力が可能になります。各自で印刷して、検査日当日に持参します。

※推薦のオンライン出願と同じ流れになります。多くの私立高校の出願でも同じ出願サイトを使用することになります。

③志願変更

志願変更をする者は、志願変更願を、在学している中学校長の確認を経て、出願した都立高校長に提出し、出願に必要な書類及び調査書等の返却を受けます。

なお、志願変更願を提出する際には、生徒手帳や身分証明書など、本人確認できるものを提示することになります。保護者が志願変更願を提出する場合は、保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者の関係を証明できるもの（住民票の写しなど）を提示することになります。志願変更願を提出するだけでなく、インターネット出願サイトでも再提出する都立高校に出願し直す作業があります。

志願変更	取り下げ	令和6年2月13日（火） 午前9時～午後3時
	再提出	令和6年2月14日（水） 午前9時～正午

※取り下げた都立高校に再提出することはできませんので、ご注意ください。

④その他、志願方法が異なる学校

出願手続きの詳細な内容は各都立高校の募集要項をご覧ください。担任にお問い合わせください。

受検の種類	実施校
国際バカロレアコース	国際
海外帰国生徒対象	三田 竹早 日野台 国際
引揚生徒対象	深川 光丘 富士森
在京外国人生徒対象	竹台 田柄 南葛飾 府中西 飛鳥 六郷工科 杉並総合 国際
チャレンジスクール	六本木 大江戸 世田谷泉 稔ヶ丘 桐ヶ丘 小台橋 八王子拓真(チャレンジ枠)
定時制課程単位制	一橋 新宿山吹 浅草 荻窪
通信制課程	一橋 新宿山吹 砂川

C 学力検査に基づく選抜（分割後期募集・第二次募集）

（1）日程

出願	令和6年3月6日（水） 午前9時～午後3時 分割後期募集・第2次募集に関しては、オンライン出願ではなく、志願者が必要な書類を直接高校に持っていきます。出願願書には中学校で公印を押す必要がありますので、高校提出前に必ず担任へ提出してください。	
志願変更	取り下げ	令和6年3月7日（木） 午前9時～午後3時
	再提出	令和6年3月8日（金） 午前9時～正午
学力検査	令和6年3月9日（土） 集合 午前8時30分	
面接及び実技検査等	令和6年3月9日（土）以後、各都立高校が定める日時	
合格者の発表	令和6年3月14日（木） 午前8時30分（合否照会サイト上で発表） 正午（校内掲示）	
合格者の入学手続	令和6年3月14日（木） 正午～午後3時 3月15日（金） 午前9時～正午	

※定時制第二次募集に関しては、出願3月21日（木）、学力検査3月26日（火）、合格発表3月27日（水）の日程で行われます。詳しくは東京都教育委員会HPや各都立高校HPをご覧ください。担任にご確認ください。

(2) 募集定員

募集定員に関しましては、東京都教育委員会HPや各都立高校HPをご覧ください。第二次募集に関しましては、第一次募集・分割前期募集合格発表日に、定員に満たなかった都立高校が、その人数分の募集を発表します。
※私立高校の合格手続きは、都立一次発表の翌日までに終える学校がほとんどです。特に併願優遇を活用する場合は、都立高校の第二次募集には出願できないことが多いですので、ご注意ください。

(3) 「分割後期募集・第二次募集」と「第一次募集・分割前期募集」の違い

	分割後期募集・第二次募集	第一次募集・分割前期募集
検査日	令和6年 3月 9日 (土)	令和6年 2月 21日 (水)
出願手続き	必要書類を高校に直接持参	オンライン出願
検査問題	国・数・英	国・数・英・社・理
調査書の扱い	学力検査：調査書＝6：4	学力検査：調査書＝7：3
スピーキング テストの活用	活用しない	活用する

D インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査

(1) 日程

追検査は分割後期募集と同じ日程・問題（国語・数学・英語）にて実施されます。

※令和6年度選抜より追々検査は実施されません。

(2) 募集定員

募集定員に関しましては、東京都教育委員会HPや各都立高校HPをご覧ください。第一次募集において、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第19条により中学校長が出席停止の措置を行うなど、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者に対して、追検査を実施することができます。なお、追検査は、第一次募集を実施する都立高校においてのみ実施し、分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しません。

(3) 出願方法

追検査の出願に要する書類

学校が用意するもの	各家庭で用意するもの
・ 調査書	・ 入学願書（インターネット出願） ・ 入学考査料（全日制2,200円 定時制950円） ・ 医療機関の証明書、中学校長が出席停止の措置を行ったことについて証明する書類又は発熱があったことについて中学校長が証明する書類（いずれか1通） ・ 自己PRカード（面接実施校の志願者のみ）

3 私立高校の入試について

私立高校の入試制度に関しては、学校ごとに手続きが異なりますので必ず入試説明会などに参加するとともに、早めに入試要項や入学願書をご覧頂き、入試制度に関して家庭でしっかりとご確認ください。また、説明会の個別相談に参加することで合格の可能性や、必要な条件などを伝えてくれる場合があります。分からないことがあれば、遠慮なく担任にご相談ください。

A 推薦入試

中学校長の推薦を受けて受験する形態です。受験するためには、「石神井中の推薦基準」を満たす必要があります。

(1) 応募資格

- ① 令和6年3月に卒業見込みである者。
- ② 志望校の教育方針を本人・家庭ともにしっかりと理解し、第1志望として志願する意志があること。
- ③ 在学している中学校の校長の推薦を受けた者。

※「石神井中の推薦基準」を満たし、校長から推薦を受ける必要があります。

- ④ 出願基準を満たしていること。

※高校によって基準は異なります。また、中学校を通して入試相談（12月15日）を行い、事前に高校側と出願基準を満たしているか確認をする必要があります。推薦希望者は、「推薦願」を中学校に期限までに提出してください。

<出願基準の例>

- 中学での欠席・遅刻数などが、その学校の規定を満たしていること。
- 中学校の2学期の評定の数値が、その学校の規定を満たしていること。
3科、5科、9科の合計など、高校により異なります。
- 3年間皆勤、諸検定、生徒会活動や部活動の状況により加点する高校もあります。

(2) 推薦の種類 ※高校によって呼称は異なります。

① 単願推薦

12月の中学校との入試相談で条件等の確認を終えているので、1月の入試は面接・作文などで、コミュニケーション力、高校の特色の理解、十分な知識、そして、入学後の抱負などで判定されることとなります。その上で、適性検査を実施する学校も増えています。合格する場合はほとんどですが、油断しないように試験に臨んでください。

② 一般推薦

推薦への出願基準を満たす生徒で、面接や適性検査を行う推薦入試です。1月の入試で面接や作文だけでなく、適性検査（主に国語・数学・英語の3教科）を行い、合否を判定する場合も多いです。大学附属の高校を中心に、高倍率となる高校も増えており、一般入試と同様に不合格の生徒も出ています。

※中学校長の推薦を要しない「自己推薦」と呼ばれる制度の学校などもあります。

(3) 中央大学杉並高等学校の指定校推薦入試

本校から1名、中央大学杉並高等学校の指定校推薦入試を受験することができます。以下の条件を全て満たす見込みがあり、指定校推薦入試を受験する意思のある生徒は、10月の進路面談にて担任に意思をお伝えください。なお、こちらの指定校推薦入試は来年度以降なくなる予定です。

希望者が複数いる場合は、第3学年2学期の評定、学校生活における実績を踏まえて、校長が推薦者を決定させていただきます。

詳細は、各担任までお問い合わせください。

B 一般入試

入試相談を通さずに受験する形態です。入学願書を各家庭でご準備頂き、中学校から調査書などの必要書類を受け取り、中学校を通さずオンラインや郵送で出願していただく場合が多くなっています。各家庭で期限などを確認し、早めにご準備ください。また、わからないことがあれば各私立高校もしくは担任にお問い合わせください。

出願	東京都の私立高校は、1月下旬から2月上旬に出願することが多いです。 埼玉県は東京都よりも日程が早いので、ご注意ください。
選抜試験日	東京都では令和6年2月10日以降に実施されることが多いです。
発表	試験日の翌日が多く、発表方法は、インターネット・掲示・郵送・手渡しなどがあります。
選抜方法	学力試験 国語・数学・英語の3教科が多いです。 面接試験 多くの学校で行われています。方法は個人面接・グループ面接などがあります。 調査書 公立様式・私学協会標準様式・私立高校独自様式のいずれかを使用します。 その他 作文・小論文・実技などが実施される場合もあります。

C 併願優遇

第一志望の高校に不合格の場合、その高校に入学することを条件として、入試にて優遇してもらえる制度です。

種類	<p>①公立併願優遇 公立高校との併願のみ認めている。第一志望の公立高校に不合格の場合に入学することを条件として、入試にて優遇してもらえる制度です。公立高校の合格発表まで入学手続きを待ってくれることがほとんどです。</p> <p>②「私立併願優遇」 公立高校、私立高校どちらも併願を認めています。第一志望の公立高校や私立高校に不合格の場合に入学することを条件として、入試にて優遇してもらえる制度です。</p> <p>どちらの併願優遇とも、都立高校の第二次募集・分割後期募集を受検できないことが多いです。</p>
出願	<p>併願優遇の出願基準を満たしていることが必要です。他は、一般入試とほぼ同じですが併願優遇専用の書類（延納願等）を提出する場合があります。</p> <p>※高校によって出願基準は異なります。また、中学校を通して入試相談（12月15日）を行い事前に高校側と出願基準を満たしているか確認をする必要があります。併願優遇希望者は、「併願優遇願」を中学校に期限までに提出してください。</p>
選抜試験日	一般入試日と同じ受験日になる場合が多いです。
発表	試験日の翌日が多く、発表方法は、インターネット・掲示・郵送・手渡しなどがあります。
選抜方法	一般入試と大きくは変わりませんが、大幅な加点が行われているため合格する場合がほとんどです。しかし、当日の点数に加点をしても合格基準に満たない場合は不合格になる場合もあります。油断せずしっかりと対策をしておくことをおすすめします。

D 私立高校受験までの流れ

①	学校説明会・個別相談会に参加して、出願基準・必要な要件を確認する。 ※高校で募集要項や願書などの書類を入手しておきましょう。
②	10月30日（月）～ 進路面談 受験を予定している高校・受験形態、相談の経過を担当に伝える。
③	11月 9日（木）～ 2学期期末考査
④	11月29日（水） 仮評定配布
⑤	12月 1日（金）～ 三者面談 受験を予定している高校・受験形態の確認
⑥	12月15日（金）～ 中学校の先生による入試相談 推薦受験、併願優遇等が認められるかが決まる。
⑦	12月中旬以降 出願手続き開始
⑧	1月22日（月）～ 推薦入試 ※推薦入試の合格発表は、入試の翌日・翌々日であることが多く、入学手続きを合格発表後すぐ行わなければならないところが多いです。
⑨	2月10日（土）～ 一般入試（併願優遇も含む）

4 通信制高校・サポート校について

特徴	学力面や健康面などで、通常の高校などに進学できないが、「高校の学習をしたい」「高校卒業の資格を得たい」と考える意欲のある生徒を積極的に受け入れ、サポートする学校です。	
種類	通信制高校	通信制高校は、全日制高校や定時制高校と同じく、所定の単位を取得して高卒資格を得る学校です。自宅などで個別に学習を進め、郵送やインターネットでレポートを提出し、スクーリングを受講し、テストを受けて単位を取得していきます。 ※都立高校にも通信制課程はあります。(一橋、新宿山吹、砂川)
	サポート校	入学と同時に提携している通信制高等学校にも入学し、レポート作成など、学力面での補助を行い、高校卒業資格を得ることを目的としています。3年間で卒業です。実質的に2つの学校に通うことになるので費用が高くなる場合があります。

※学校の性質上、ほとんどの学校は少人数のクラス編成になっています。スクーリングだけでなく、レポート等でも単位が取得できるところが多いです。

※授業内容やカリキュラム、設備、費用などは学校によって異なりますので、必ず説明会に参加し、学校の様子をよく把握してから進学することが大切です。

※募集は早くから行われます。併願の制度もあるので、関心のある人は早めに検討しましょう。

※スクーリングとは…学校やスクーリング会場に登校して、先生から直接指導を受けること。

5 都立産業技術高等専門学校の入学選抜について



詳細は都立産業技術高等専門学校HPもしくは担任にお問い合わせください。

(1) 求める生徒の姿 (アドミッションポリシー) について

- ① 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- ② 高専での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人
- ③ コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人
- ④ ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

(2) 日程

	推薦に基づく選抜	学力検査に基づく選抜
出願	令和6年 1月12日(金)から 1月18日(木)までに必着 品川キャンパスに簡易書留郵便にて受付 ※品川・荒川のいずれかしか希望できない	令和6年 1月31日(水)から 2月6日(火)までに必着 品川キャンパスに簡易書留郵便にて受付 ※品川・荒川に志望順位をつけることができる
検査実施日	令和6年 1月26日(金)	令和6年 2月15日(木)
検査内容	調査書、小論文、面接	調査書、学力検査(国語・数学・英語) スピーキングテストの結果は使用しません。
合格発表日	令和6年 2月2日(金)	令和6年 2月20日(火)

※学力検査に基づく選抜に関しては、都立高校の第一次募集とあわせて出願できますが、高専に合格した場合は都立高校を受検することはできません。

6 専修学校の入学について

高等専修学校とは、専修学校のうち高等課程を設置する学校の一般的な呼び名であり、入学資格は中学校卒業者またはそれと同等の学力を有するものとなっています。中学校の教育を基礎に、職業もしくは実生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ることを目的としています。専修学校は、文部科学省により「工業」「農業」「医療」「衛生」「教育・社会福祉」「商業実務」「服飾・家政」「文化・教養」の8つの分野に分類されています。

A コースによって異なる修業年限

(1) 衛生系の調理・美容・理容

学校が養成施設であり、課程を修了すれば免許を取得できるため、1年制のところが多いです。

(2) 家政系（服飾、デザイン）や商業実務系（簿記、パソコン）

多くの学科が3年制をとっています。職業上役立つ資格の取得を目指す場合に、高等学校卒業程度の学力を必要とするものが多いことや、さらに上級の資格取得をさせるためです。

(3) 高卒資格の取得

3年制以上の高等専修学校では、通信教育課程や夜間課程を持つ高等学校と提携し、高卒資格が取得できる道を開いています。しかし、同時に2つの学校に入学することになるため、学費などについては、十分に調べておく必要があります。高等学校と提携していない高等専修学校では、一定の要件を満たしたと認められた学校に対しては、文部科学大臣が大学入学資格指定をすることができます。

B 入試について

入学試験	推薦入試、一般入試 とも、学校により様々な形態がとられています。 ① 願書受付 推薦入試10月1日以降 一般入試11月1日以降 ② 選抜方法は、学校によってまちまちです。受験日が2回、多いところでは7、8回あります。
学費	入学金・授業料・諸費用などを加えた初年度納入金は70万～130万円になることが多いです。実習の費用によっても異なるのでよく調べる必要があります。

7 受験に必要な書類について

志望先が決まり、いよいよ受験の手続きとなります。出願手続き、合格した場合の入学手続き等、その時々で、さまざまな書類が必要になります。これらに不備があると当然のことながら、受験にも入学にも支障をきたしてしまいます。学校ごとに若干の違いはありますが、ごく一般的な書類の提出についてまとめてみました。

A 高校出願に必要な書類

	都立高校	私立高校	備考
募集要項	中学校から配布	受験校にて購入してください。	都立高等専門学校・定時制課程単位制高校等は、見学の際に入手してください。
入学願書	オンラインで出願 (第二次募集は願書を高校へ持参) 受検票を各家庭で印刷してください。	出願願書・調査書用紙・推薦書用紙等が一式同封されています。	
調査書	公立高校用 中学校で用意します。	公立高校用・私学協会標準様式・私立高校独自様式のいずれかを使用します。 「調査書作成願」と一緒に所定の様式を担任にご提出ください。	「調査書作成願」 受験校が決まりましたら、私立高校の募集要項のコピーとあわせ、担任へ提出してください。
推薦書	一般推薦書・特別推薦書 中学校で用意します。	高校により所定の様式があります。 「調査書作成願」と一緒に所定の様式を担任にご提出ください。	「推薦願」「併願優遇願」 受験校が決まりましたら、担任へ提出してください。
受験料	全日制 2,200円 定時制 950円	学校により異なります。 20,000円を超える学校がほとんどです。	都立高専12,600円

B 高校出願の時に注意しておきたい事

(1) 願書の記入について

油性の黒のボールペン（フリクションペンは使用不可）を使用して、ご家庭で記入してください。不安な場合は、事前に鉛筆等で薄く書き、担任にチェックしてもらいましょう。学校で記入する欄がある場合もあるので、入試要項、願書の記入方法をよく読んで、間違いのないようにしましょう。手続きの延納願を届ける学校があります。中学校の公印が必要な場合もあるので、早めに確認し、余裕を持って提出してください。また、印を押す場合は、シヤチハタは認められませんので、必ず朱肉を使用する印にしてください。

(2) 私立高校の推薦書について

多くの場合は、推薦書を各家庭でご準備頂き中学校に提出後、中学校が記入をして公印を押して厳封しお渡しすることになります。すぐには発行できませんので早めにご準備頂き、中学校にご提出ください。

(3) 私立高校の調査書の様式について

「公立高校用」「私学協会標準様式」「私立高校独自様式」の三種類があります。

- ・「公立高校用」の場合は「中学校所定用紙(公立高等学校提出用可)」、「公立高校と同じ様式」のような記載が募集要項にありますのでご確認ください。この場合は、中学校で調査書を準備できます。
- ・「私学協会標準様式」の場合は、「東京私立中学高等学校標準様式」、「私立共通様式」のような記載が募集要項にありますので、ご確認ください。
- ・「私立高校独自様式」の場合は「本校指定のもの」というような記載が募集要項にありますのでご確認ください。この場合は、各家庭で調査書の記入用紙をご準備頂きます。また、**手書きでの記入が必要な場合もありますので、すぐには発行できませんので早めにご準備頂き、中学校にご提出ください。**

(4) 調査書の提出について

『親展』扱いの文書ですので、**提出前に開封することのないよう、ご注意ください。**開封すると無効になってしまいます。調査書は、出願時に願書と一緒に志望校に提出していただきます。また、私立高校では出願の際、調査書受領書が渡される場合があります。渡された場合は、担任に提出してください。

(5) 受験(受検)票について

出願後、受験番号や受験日を中学校に報告してください。受験票のコピーを担任に渡しておく心安心です。集合、時刻、場所、持ち物など確認してください。なお、高校入学後も受験票が必要になる場合もあるので、しばらく家庭で保管するようにしてください。

8 合格発表・入学手続きについて

A 都立高校

(1) 合格発表

合格者の発表は、受検校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行います。合格者には、合格通知書が交付されます。

(2) 入学手続き

合格者は、入学手続き期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期限内(合格発表の翌日から起算して5日以内)に入学料(全日制5,650円 定時制2,100円)を所定の納付場所で納付しなければなりません。入学手続き期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したとみなされます。

B 私立高校

(1) 合格発表

受験の形態により、合格発表日は異なります。試験日の翌日が多く、発表方法は、インターネット・掲示・郵送・手渡しなどがあります。

(2) 入学手続き

推薦入試の入学手続きは、合格発表日から数日以内に行わなければいけない場合が多いです。一般入試(併願優遇を含む)の入学手続きは、最初から都立高校合格発表の翌日までとなっている場合と、延納願を提出することで都立高校合格発表の翌日まで延長できる場合の2つが存在しますので、入試要項をご確認ください。

9 受験（受検）に向けて心がけるべきこと

（１）健康管理について

コロナやインフルエンザ等の感染症に罹患した場合は再受験が認められる場合もありますが、推薦入試などでは多くの場合は不受験のため不合格となってしまいます。また、体調が悪いまま受験をしても本来の力を出せない場合もあります。

今のうちから規則正しい生活を心がけ、学校に遅刻せずに登校しましょう。起床してから脳が活発に動くようになるまでに3時間ほどかかると言われています。本番に向けて、夜は早めに寝て、試験開始時間の3時間前に起床する生活リズムを作ってみましょう。

（２）身だしなみについて

面接などにおいては受け答えの仕方や内容も大切ですが、身だしなみも同じくらい大切です。メラビアン
の法則によると、その人の第一印象を決める要因のうち、55%が視覚情報（見た目、しぐさ、表情、視線）、
38%が聴覚情報（声の質や大きさ、話す速さ、口調）、7%が言語情報（言葉そのものの意味、会話の内容）
だと言われています。

例えば、前髪が目にかかっていると暗い印象を与えてしまったり、前髪が気になり無意識に何度も触って
しまい、落ち着きが無いように見えてしまったりすることもあります。また、上履きが汚かったことばかり
が試験官の印象に残ってしまったりしては、本来の内面の魅力が伝わりきれない可能性もあります。おしや
れをする必要はありませんが、面接試験がある場合は特に清潔感のある身だしなみを心がけましょう。

○顔付近 □清潔感のある頭髪 □めがねは拭いてきれいにしておく

○服装 □標準服を正しく着る □ズボンやスカート丈の長さを適正に調整しておく

□しわや汚れがないようにする □上履きを洗っておく □校章・クラス章を正しくつける

（３）受験勉強について

孫子の兵法書に「彼を知りて己を知れば、百戦して殆（あや）うからず。」という言葉があります。「相手
と味方の実情を熟知していれば、百回戦っても負けることはない。」という意味です。

受験においてもこの考え方は重要です。まずは、味方＝自分自身について知りましょう。得意な分野につ
いて知ることが大切ですが、自分の苦手分野について知ることがより大切です。問題が上手く解けないと落
ち込みますが、「わからない問題に出会えてラッキー」と思い、どんどん解けない問題に出会えるようにし
ましょう。わからない問題にであつたらしっかりと理解できるようにしておきましょう。自分で考えてわか
らない場合は先生に聞いてみましょう。また、多くの模試を受けることもわからない問題を見つけること
には有効です。

次に、相手＝志望校について知りましょう。出題傾向が必ずあるはずで、過去問などを解いてみるのが
有効です。都立の場合は、都立の共通の過去問を全て解いたら近隣の県の過去問をやるのもよいでしょう。

（４）受験はチーム戦

受験は個人戦でなくチーム戦だとよく耳にします。確かに個人で志望校に受験をするのですが、受験まで
の道筋はまさにチーム戦です。担任やサポートしてくれる先生とのチーム、家庭や保護者とのチーム、とも
に受験に向かう同級生のチームなど、様々なチームとともに受験に立ち向かいます。たった一人で受験勉強
に取り組んでいると、無性に不安になったり、焦ったりしてしまうことがよくあります。しかし、毎日学校
にて友達と会話し、受験勉強の悩みを相談したり、お互い励まし合ったりすることで、気持ちが安定して、
より一層勉強に励めるようになります。一人で悩まず、周りに相談して良いチームを作っていきましょう。

過去問一覧

都立高校過去問



埼玉県立高校過去問



神奈川県立高校過去問



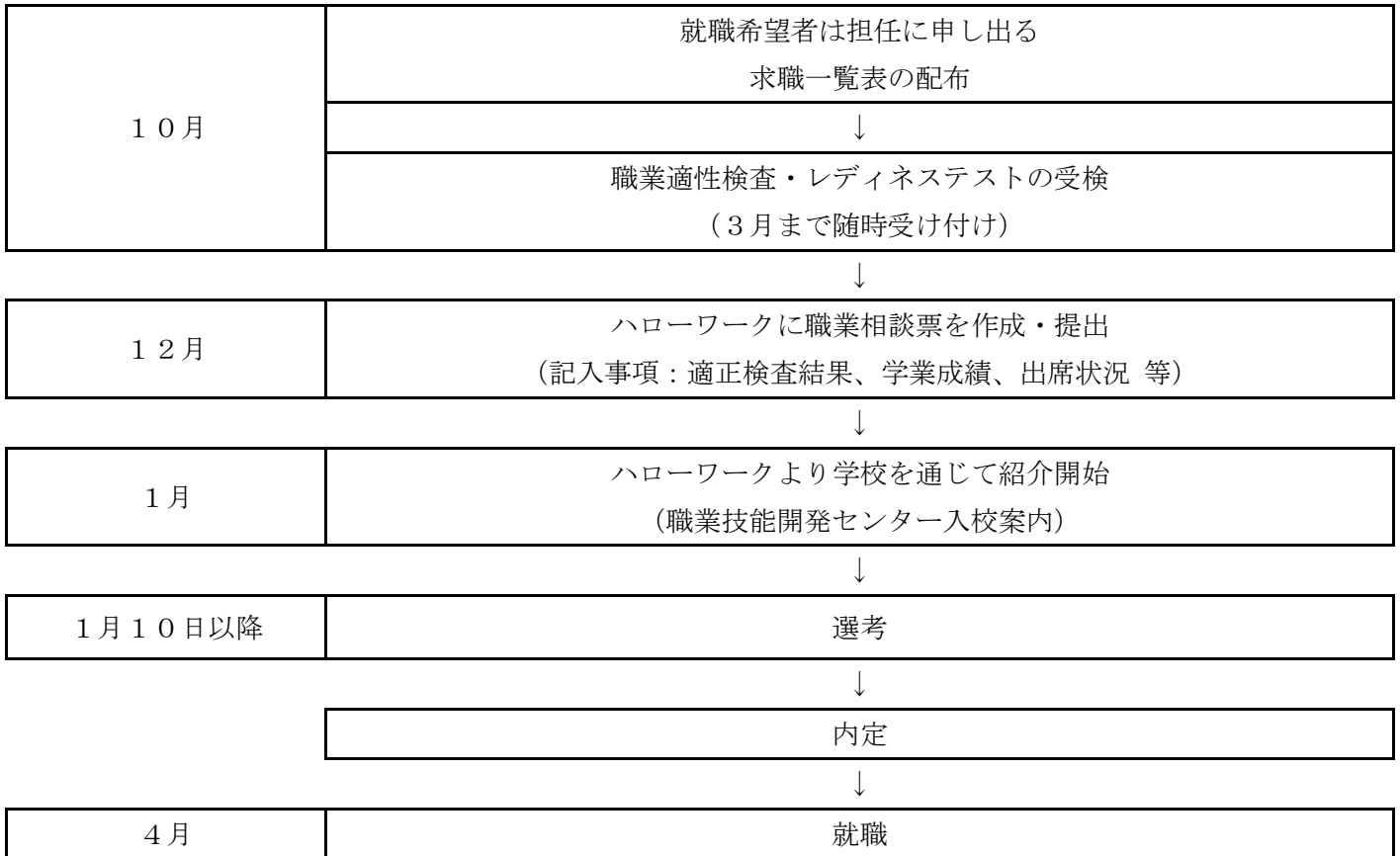
10 今後の予定について

第3回進路希望調査 ～10月23日(月)	進路面談に向け、受験する可能性がある高校、その受験形態についてご家庭の方針を決めておいてください。特に私立高校で推薦や併願優遇を考えている場合は、高校の学校説明会や個別相談に参加しておいてください。
進路面談 10月30日(月) ～11月6日(月)	1学期評定、そして定期考査や領域診断テストの結果を参考に、受験する高校、受験形態、志望順位を確定していきます。 ※進路面談の午後や12月の三者面談までの土日を活用して、受験する高校の見学や個別相談を必ず済ませておきましょう。また、2学期期末考査に向けての勉強に全力を尽くしましょう。
調査書記載事項の検討・確認 11月中	調査書の「諸活動の記録」の項目に記入する内容を、ご家庭で検討の上、提出してください。項目は優先順位の高い順から6項目程度記入することができます。資格について記入する場合は、合格証のコピーが必要になります。部活動について記入する場合は、大会の賞状やプログラムのコピーが必要になる場合もあります。
2学期期末考査 11月9日(木) ～11月11日(土)	2学期の成績を出す上で、最後の定期考査となります。悔いの残らないよう、最大限の努力をして、考査に臨みましょう。
第4回進路希望調査 ～11月20日(月)	受験校・受験形態について十分に話し合い、志望する順番を確定しておいてください。この希望調査と仮内申を照らし合わせ、学年会議で一人一人の進路を吟味し、面談に備えます。
仮評定配布 11月29日(水)	事前に2学期評定の内定の数値をお知らせします。成績に変動がある場合、志望校・受験形態の変更等のご検討を三者面談までをお願いします。
冬季三者面談 12月1日(金)～7日(木)	私立推薦、都立推薦、私立一般の受験校(併願優遇を含む)、都立一次の受検予定校を決定します。この面談にて、「推薦願」「併願優遇願」を必要なご家庭にお渡しします。
推薦願等の提出 ～12月9日(土)	ご家庭で記入した「推薦願」「併願優遇願」を担任に提出してください。この書類をもとに15日(金)からの入試相談を行います。 ※提出後の受験校の変更はできません。また、入試相談の準備がありますので、9日(土)厳守でお願いします。
調査書作成願(封筒)の提出 ～12月22日(金)	受験が決まった私立学校について、試験日の近い順番に、出願期間と書類、方法、発表から手続きまでを調査書作成願に明記して、以下の書類を封筒に入れて、担任に提出してください。 ①調査書用紙、②推薦書用紙、③募集要項のコピー、④その他必要な書類 複数校を受験する場合は、高校ごとにファイルに入れてまとめてください。
自己PRカードの提出 都立高校推薦受検者 ～12月22日(金)	都立高校の推薦入試を希望する人は、2学期中に自己PRカードの清書を提出しましょう。都立推薦を受けない人も、都立高校の受検校が決まっている生徒は、冬休み中に作成しておくとい良いでしょう。

1 1 就職について

学校においては、就職希望生徒についてハローワークとの連携を緊密にすることによって、生徒自身の適性と能力に適合した職業選択の道筋をつくとともに、よき職業人、社会人に成長することを目標に職業指導を行っていきます。

A 就職までの流れ



B 職業選択のポイント

(1) 興味のもてる仕事を探す

自分にとって興味のもてる仕事は、生徒自身が大きなやりがいを感じ、能力を発揮しやすく、また、人間性の伸長に大きく貢献すると考えられます。

(2) 適性にあった仕事を探す

自らの特性を理解し、見つめ直し、職業を選択することは、自己を理解した上で新たな可能性と求め努力する姿勢を養うことにつながります。

(3) どんな条件で仕事を探すか

実際に就職した職場で長期間勤めることが望ましく、また自己の生活をより豊かに高めることも重要なことです。給与、勤務時間等の条件の検討は職業選択の上で大切な要素です。

<注意事項>

- ・ハローワークから求人の紹介を受けるためには、学校で職業相談票を作成し提出しなければなりません。
- ・縁故就職は雇用条件が不確定なため、賃金・労働時間・休日等で問題が発生し、早期に離職する生徒が見られたりします。学校を通じた安定所への求人申し込みも一つの方法ですので、ご検討ください。

1 2 保護者の皆様へ

A 都立高校の令和6年度選抜での主な変更点

(1) 男女合同選抜の実施

これまで男女別定員を定めていた全日制普通科（単位制及びコース制を除く。）を含め、全都立高校の推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、男女合同選抜を実施する。

(2) 集団討論の実施

一般推薦において、新型コロナウイルス感染症対策のためにこれまで中止していた集団討論は、必要と判断した都立高校で実施する。

実施校：日比谷、竹早、深沢、鷲宮、西、篠崎、調布南、東大和南、永山、足立工科、町田工科の11校

(3) 検査間の休憩時間

学力検査に基づく選抜当日の日程について、令和2年度以前の形に戻し、検査間の休憩時間を30分から20分にする。

(4) 追々検査の廃止

インフルエンザ等で追検査を受検できなかった者又は分割後期募集を受検できなかった者のうち第一次募集・分割前期募集を受検できなかった者を対象として実施した追々検査を廃止する。

B 学校説明会・個別相談会への参加

受験する可能性のある高校の学校説明会には、必ず参加するようにしてください。入学したら3年間通学することになります。自宅から高校まではどのような経路で行くのか、またどれくらいかかるのか実際に体験してみることが必要です。また、自分の目で高校の施設・雰囲気、学生の様子を見ることで、新たな魅力に気付くこともでき、その高校に入学したいという気持ちも高めることができます。逆に、「思っていたのとは違った」、「自分には合わない」と事前に気付くことができるかもしれません。生徒と保護者で行き、複数の目でその高校に3年間通うことができるかどうか、判断してみてください。

また、私立高校の推薦入試や併願優遇を検討しているご家庭は、個別相談会に参加するようにしてください。入試担当の方と実際に相談することで、合格の可能性や出願に必要な要件を確認することができます。

C 調査書記載事項の検討

調査書の諸活動の記録の欄には、特別活動及びその他の学校内外の活動のうちから、その生徒の特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を客観的な記録として記入します。顕著な成果のある活動に加え、以下の活動を6つ程度、記入することになります。各ご家庭にて、3年間のどの活動を記入するか、記入順も含めてご検討ください。

- (1) 積極的な態度や意欲をもって取り組んでいる活動
- (2) 人間形成上好ましい影響のある活動や他の生徒に好ましい影響を与えている活動
- (3) 中学校3年間における継続的な活動又は各学年における特筆すべき活動

<諸活動の記録の記入例>

- ・図書委員として「図書だより」の作成を担当（第3学年）
- ・実用英語技能検定3級取得（第3学年）
- ・体育祭実行委員長を務め、実行委員会の指揮・運営を担当（第3学年）
- ・合唱コンクール実行委員として行事の企画・運営を担当（第2学年～第3学年）
- ・サッカー部3年間所属（第1学年～第3学年）
- ・ソフトテニス部員に所属し、東京都中学校ソフトテニス選手権大会個人戦・団体戦出場（第3学年）
- ・バスケットボール部に所属し、練馬区総合体育大会で第3位入賞（第3学年）
- ・剣道二段取得（第3学年）
- ・生徒会主催の地域清掃活動に参加（第1学年～第3学年）
- ・国語係として教科の連絡を担当（第1学年～第2学年）

D 都立高校の入学願書における氏名の記載

入学願書に記入する氏名等の文字は、住民票に記載されているものを使用します。ただし、住民票に記載されている文字が常用漢字表外字の文字である場合、その文字を常用漢字で代用しても差し支えありませんが、入学願書、受検票、調査書及び氏名記載のある成績一覧表（以下「原簿」という。）の表記は統一することになります。（例 澤一沢、邊一辺）

外国籍を有する志願者も、住民票に記載されている氏名（以下「本名」という。）を入学願書の志願者氏名欄に記入することとなりますが、住民票に通称名が表示されており、受検票に通称名のみを記載を希望する者は、入学願書の志願者氏名欄、調査書の氏名欄及び原簿の氏名欄には、本名の後ろに（ ）を付して通称名を記入します。その場合は、受検票の受検者氏名欄には、入学願書に併記した通称名のみを記入で差し支えありません。

※進路に関する基本情報（氏名・生年月日・保護者氏名・現住所など）の確認書類を改めて配布します。

(例1) 外国籍を有する志願者の場合の入学願書の志願者氏名欄			
フリガナ	アイシャ アリ	性別	
氏名	AISHA ALI		女
(例2) 外国籍を有する志願者（漢字併記）の場合の入学願書の志願者氏名欄			
フリガナ	チャン アイ ピン	性別	
氏名	ZHANG AI PING		張 愛 平 男
(例3) 外国籍を有する志願者で、本人が通称名の使用を希望する場合の記載例			
(1) 入学願書の志願者氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）			
フリガナ	チャン アイ ピン	(トウ キョウ タ ロウ)	性別
氏名	ZHANG AI PING	(東 京 太 郎)	男
	本 名	通 称 名	
(2) 受検票の受検者氏名欄（通称名のみで可）			
フリガナ	トウ キョウ タ ロウ		
受検者氏名	東 京 太 郎		
	通 称 名		
(3) 報告書の学籍の記録・児童氏名欄（本名と通称名を併記。両方にフリガナを振る。）			
フリガナ	チャン アイ ピン	(トウ キョウ タ ロウ)	
児童氏名	ZHANG AI PING	(東 京 太 郎)	
	本 名	通 称 名	

MEMO